

**日本初^(※1)！全国450万件の地盤データを活用
BIOSCOPE 表層モード柱状図の全国公開開始
～近隣地盤調査データを提供～**

一般社団法人住宅不動産資産価値保全保証協会(代表理事：古原克也 本社：東京都港区)は BIOSCOPE 表層モード柱状図(※2)を2015年10月より本格的に全国の住宅会社様を対象に無料で公開いたします。

BIOSCOPE 表層モード柱状図とは日本全国を100mグリッドに分割し、指定した住所が位置するグリッド内に存在するスウェーデンサウンディング試験データをオリジナルデータにカスタマイズした柱状図を表示する近隣地盤調査データです。

柱状図に記載される代表的な情報は以下の3点です。

- ①推定土質状況
- ②換算N値(最小値及び平均値)
- ③自沈層の有無

BIOSCOPE 表層モード柱状図は2015年2月にサービスをスタートした BIOSCOPE プレ地盤診断レポート(※3)を補完するものです。

従来の BIOSCOPE プレ地盤診断レポートを住宅会社様に活用いただくことで、地盤改良工事が必要になった際、お客様にご納得いただきやすくなったり、土地なしのお客様が最初に相談しに来ていただけたという利点がありましたが、さらに BIOSCOPE 表層モード柱状図をセットで活用いただくことにより、地盤改良工事費用の概算見積を作成することができ、お客様の資金計画に、より具体的に予算を組み込むことができるというメリットが得られます。

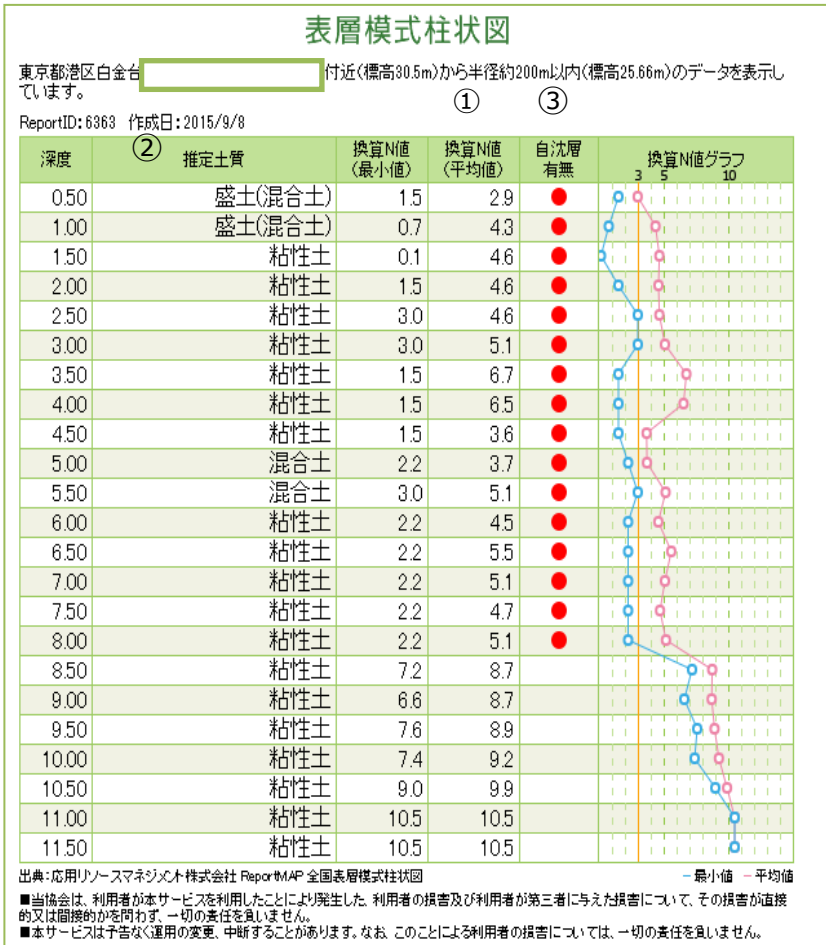
全国公開開始初年度の利用数は年間1万件を見込んでいます。

今後もお客様が検討している土地の将来的な不動産資産価値を図るうえで有益な事前情報を住宅会社様が提供できるサービスの拡充を図ってまいります。

尚、BIOSCOPE 表層モード柱状図は11月18日～20日の3日間 東京ビックサイトにて開催される第37回ジャパンホームショーに於いて無料で提供予定です(先着100社様)。

(※1) 日本初となるのは表層モード柱状図の形式で提供する点です

(※2) BIOSCOPE 表層模式柱状図



(※3) BIOSCOPE プレ地盤診断レポート

BIOSCOPE 一般社団法人 住宅不動産資産価値保全保証協会

BIOS プレ地盤診断レポート 2015年 02月 23日

① 沈下修正工事費用はどのくらい?

不利な沈下修正工事費用はどのくらい? 沈下修正工事費用はどのくらい? 沈下修正工事費用はどのくらい?

② 土地の歴史

昔はどんな土地だったのかな?

過去 (大正～昭和初期) 現在 (2007年以降)

③ 土地の分析

どんな土地なんだろう?

案内図

土地の条件区分

土地の高低差

土地のリスク

液状化診断

液状化の可能性は 極めて低い

④ 液状化はなぜ起きるの?

液状化とは、地下水位以下のゆるい砂地層に大きな振動が伝わった場合に、砂粒子が液体のようにになってしまう現象ですが、これはなぜ起こるのでしょうか? ゆるい砂地層が水で満たされている場合、地震などでこの砂地層を激しく揺らすと、細かい砂が水の中で逃げなくなり、水が押しつぶされ、水が砂粒子と砂粒子の間に押しつぶされます。このとき、砂粒子内で水圧がグングンと上昇します。この水圧が土の重さよりも大きくなると、砂粒子間の結合が壊れて砂地層が液体のようになり地表面に噴き出し、地盤を支える力が弱くなって、建物が沈下したりします。発生場所は砂地盤や堆立地、河口川畔や池沼畔や水田などでも発生しやすい地質である事が分かっています。

プレ地盤診断結果

診断した結果を確認してね

- 土地の条件区分: 更新世後丘
- 土地の利用区分: 建物用地
- 標高: 30.00 m

『地盤予報』の結果、悪い傾向となった場合・・・
環境保全型地盤改良工法の一つ『砕石パイル工法』を推奨いたします。

ロケーションによる地盤予報は・・・

良い傾向 悪い傾向

良い傾向 悪い傾向

ロケーションによる地盤予報は・・・
良い傾向 です

詳しくは TEL: 03-6540-6395 へお問い合わせください。